



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2015

10

Bulletin

2015.10.1発行

第30巻第4号通巻358号

主
題

- 国際会長** 信念のあるミッション Mission with Faith
アジア会長 愛をもって奉仕をしよう Through Love, Serve
西日本区理事 あなたならできる！ きつとできる “You can do it! Yes, you can!”
—生きる しなやかに さわやかに— —Live flexibly and refreshingly—
京都部部長 いつも喜んでいなさい
メネット主任 メンと共に メネットはワイズの応援団

聖
句

あなたがたのうちでいちばん偉い人は、仕える者になりなさい。だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。

マタイによる福音書第23章11～12節



『 Start Future Now! 』

直前アジア地域会長 岡野 泰和

2013年7月から2015年6月末までの二年間アジア地域会長としてのお役目を与えていただき、国際協会においてのアジア地域の現状やこれまで西日本区が果たしてきた貢献について実感し、これからのワイズ運動について考える様々な機会がありました。いま国際協会では二極化している現状があります。ワイズ運動が発祥したアメリカ地域ではメンバー減少と高齢化が進んでいる一方、韓国地域のようにメンバー増加にともない毎年のように新しい区ができていく地域もあります。その中でアジア地域にはメンバー減少・高齢化が進みつつある区と新しい地にワイズ運動を拡張している区があります。それぞれに課題がありチャレンジがあります。西日本区は国際全体に占めるメンバー数の割合は約5%ですが、国際プログラムのための献金では毎年約10%の貢献を続けています。国際においてはその活動が大変高い評価を受けています。またこの夏に京都部のみなさんが中心となって運営していただいたアジア地域大会とユースコンボケーションは大きな成功だったと高く評価されています。2022年のワイズ運動100周年にむけて国際においては益々西日本区のワイズに対する期待が膨らんでいます。

これからのワイズ運動はYMCAとの協働をより強く進めていくなかで、ユースエンパワメント、ユースへの支援を大きな柱として取り組んでいくことが求められます。そのための様々な取り組みがすでに始まっています。クラブ、部、区、地域そして国際の各レベルでも未来にむけてユースの支援をより一層強化し、YMCAとの協働や世界の仲間との連携を強化することでワイズ運動の未来がより輝けるものとなるでしょう。私たち一人ひとりがワイズ運動の原点に立ち返り、相互の親睦と研鑽を深めながら未来に奉仕する喜びを持って楽しく進んでいきたいと思えます。

Start Future Now!

最後になりましたが二年間お支えいただき本当にありがとうございました。第26回アジア地域大会、ユースコンボケーションへのみなさまの多大なるご協力に感謝申し上げます。みなさまの更なるご活躍と、そして京都部の益々のご発展を祈念しています。ありがとうございました。

会長主題

喜び楽しみ
皆で笑おう

会長	蔦田 茂夫
副会長	田中 邦昭
	三村 良行
書記	森 伸二郎
会計	小野 敏明
林外会長	蔦田 智美

進捗月報

Youth Activities

10月 例会案内

7日(水) 第一例会

京都部会実行委員会アワーとして、部会のテーマなどを検討する例会です。

21日(水)

3クラブ合同例会

恒例の3クラブ合同例会に今年はみやびクラブがゲスト参加されます。例会場は、リーガーロイヤルホテルなのでお間違いの無いようにご参集ください。

例会出席

9月第一例会	12名
9月第二例会	13名
在籍者数	16名
メンバーシップ	2名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	pt
現金	円
累計	0円

ファンド

ぶどう	34,700円
-----	---------

累計	148,750円
----	----------

ニコニコ

9月第一例会	0円
9月第二例会	0円
累計	10,000円

9月第一例会

2015/9/2
榎木 徳子



ゲストスピーカーは、弁護士の安保千秋先生で、テーマは「子どもシェルターの挑戦〜子どもの人権とののさんの活動」、ゲスト6人、メネット1人も含め、合計20人の参加がありました。

帰る所のない子どもとの出会い、子どものシェルターとは、シェルターの位置づけ、NPO法人子どもセンターののさん、子どもシェルター「はるの家」、「はるの家」利用の流れ、「はるの家」での暮らし、「はるの家の子ども達」「のさんのこれから」についてお話していただきました。

先生のお話の中で、経済的にも社会的にも家庭的にもある程度安定した人たち(細々とした不満はあるかもしれませんが)をさして、「大通りの人たち」という言葉が何回か出てきました。「はるの家」に入る子ども達は、いろいろな理由で「大通り」を歩けない子がほとんどです。そんな子ども達においしい食事やふかふかのお布団を用意し、弁護士が相談にのって少しでも安心できるように支援します。

また、今後の大きな課題として、社会生活をする上でもつまづきやすい子ども達へのケアの必要性を話されました。

「子どもは大人と会話することで学んでいく」。大人が子ども達のためにできること、子ども達と会話をし、一緒に作業をし、一緒に何かを作り上げていく、それが大切であることを改めて感じました。健康な子ども、ハンディをもった子ども、大通りを歩けない子どもに、ワイズができることを考える機会になりました。

安保先生ありがとうございました。



サバエ ファミリーキャンプ

Y'サ委員長
齋藤 謙治



プリンスクラブでは、サバエキャンプ場を夏季だけではなく通年で利用出来ないかを検討課題に挙げ、春のディキャンプに続き、秋のファミリーキャンプをシルバーウィークの9月19日20日にYMCAとの共催で9家族26名の参加をもって実施致しました。企画・立案から実施まで宇高ワイズ、飯尾ワイズの尽力に感謝です。

19日の現地集合は、連休初日で道路が渋滞し、二家族の到着が若干遅れましたが、マリネディレクターのもとに、CLクロちゃん・れん・メリー・ぐらん・らこ・ちゃま・かつを・7名のリーダー達が練り上げてくれたタイムテーブル通り、旗揚げから楽しい1泊2日の

キャンプがスタート。今回のキャンプの目標は「挑戦・つながり・感動」テーマは「あたしんち」テーマソングは、「陽のあたる道」です。

定番カレーの昼食後、琵琶湖でのカヌーのプログラムの快晴にもかかわらず強風の為、湖に乗り出せず浜でのパドルの扱いの練習と旗とり競争に変更されましたが、旗とり競争が盛り上がり、子供達のテンションが上がった様子。プリンスクラブの代表として蒔田会長も参加して若さをアピールシャワー・夕食を済ませて、7時からメインイベントのキャンプファイヤー、テーマの「あたしんち」を表現した、クロちゃんを母さん役にした「美和家と愉快的仲間達」の寸劇が大盛り上がり、他のリーダー達のゲームで参加者全員のつながりが出来ました。キャンプファイヤーの後、森ワイズの星空観察は、あいにく雲が多く室内の星空スライドショーに変更。キャンプ初日の締めくくりは花火大会で行く夏を惜しみました。

翌日は快晴無風、カヌー日和になり子供達はやる気満々、日野川河口まで約1時間の挑戦を終えた後も、浜での水遊びにテンション上がり放し。昼食は全員参加の野外料理、メインのBBQはお父さん方の出番です。サイドメニューの焼きパイナップルとフルーツポンチはプリンスクラブの十八番でワイワイガヤガヤ。クロージングプログラムは、子供達は似顔絵にコメントを書き、親にプレゼント、親は歌のプレゼントで親子の絆がより強まり、目標の感動を与えられたと思います。3時半閉会式、旗下げ、記念写真で二日間のキャンプを無事終了。

スタッフとして参加したワイズは廣井、宇高、飯尾、齋藤、蒔田、森、辻中、三村、岡西、岡西メネットの10名でした。





九月第二例会は、今期初めての新入会員の入会式です。新しいメンバーは、今西英隆ワイズ。この日は、メネットの喜美子様、コメットの懐君・伶君と家族全員でご参加いただきました。蒔田会長の入会の式辞に従って入会の決意表明をされました。今日からは、我々の仲間、ワイズメンです。一緒にワイズライフを楽しみましょう！

この日は部長公式訪問例会です。高田京都部部長を筆頭に大槻地域奉仕・環境事業主査、山岸EMC事業主査にお越しいただきお話しいただきました。最初に、山岸EMC事業主査から、今後いかにメンバー増強を図るか？についてお話がありました。京都部は今年度7月初め、500名を何とかキープできたが、これから、メンバー増強について各クラブで真剣に討議して欲しいとのことでした。

続いて、大槻地域奉仕・環境事業主査のお話です。自身の経験から、いかに喜んで他者に奉仕することが大切かを話されました。50年以前には二ヶ月に一度の献血を続けられていて、その過程でご自身の大腸ポリープが見つかるということがあり、献血が自身の健康管理につながったというエピソードを語られました。すなわち喜んで人々の為にするサービスが真の地域奉仕であり、楽しんで喜んで奉仕活動に邁進してほしいとの思いを伝えられました。

最後に、高田京都部長にお話を頂きました。不調法ではなく、蝶のように軽やかな部長を目指す。カッコいいですね、高田部長！部長を務めることで、人のことを少し考えることができ人の立場や気持ちがわかるようになり、角が取れて丸くなったと感じてられるそうです。そこで、ワイズのつながりとは何でしょう？一つの目的を達成するのに皆で協力して喜んで楽しく奉仕をする仲間であること。この実践こそがワイズメンたる醍醐味であり我々も心したいことですね！

こうした思いを持てる、そしてこれからの日本を背負って立つ若者をいかに多く育てるかが大切で、自分の気持ちを素直にはっきり表現できる若者を育てていかなければならないのではないとのことでした。

我が、プリンスクラブ次期京都部部長廣井ワイズは、子供たちの未来のためにワイズメンができることを次期のテーマとして掲げられています。会員一人一人がそれぞれの立場でこのテーマに即した行動を起こすことが大切です。その実践の為に、現在非常にメンバー数が少ないので、何とか次期京都部部会までに、後10名ぐらいの新しいメンバーの入会が必要ですね。メンバー一人一人が危機感を持って背水の陣で臨みましょう。



プリンスクラブ 設立30周年に向けて

次期京都部部会副実行委員長 宇高 史昭



私は昨年12月に新メンバーとして迎えて頂いたばかりですから、創立30周年を記念する活動と言われても、まだ具体的なアイデアが生まれてきません。しかし、この半年間を振り返ってみて、これまで京都YMCAの活動をご一緒してきたワイズメンズクラブの方々に対するイメージが大きく変わりました。

一つ目は、リーダー以上に、for Kidsの意識/Mindが高いこと、二つ目は、先輩ワイズメンの生き様をとても大切にされるSpiritが受け継がれていること、三つ目は、的を得た軽快かつ組織的な行動力/Bodyがあることです。

私は30周年でこの特長を外に発信し、内向きには新しいワイズに伝えたいと思います。具体的には、①Mind～北米YMCAの活動方針にある Strong Kids, Strong Familyづくりのための幼児ファミリープログラムのサポート(施設整備等)キックオフ、②Spirit～心に残る先輩ワイズメン等を紹介するコメントと活動の歴史を綴った30周年記念Webサイトの開設と30周年記念例会でこれまでの歩みで支援いただいた関係者への感謝状贈呈、③Body～学生ボランティアリーダーが主体で企画するプログラムを支援するYサ基金の設置と協働等はいかがでしょうか。一つでも実現できたら嬉しい限りです。

青い空と白い雲のキャンプ

ウイングクラブ
井上 英也



8月22日～23日(日)の二日間、サバエキャンプ場で行われました。重い病気で入院している子供達とその兄弟達に、諸事情でふだんなかなか出来ないであろうダイナミックな体験をさせてあげようということが目的で始まった事業です。2003年、当時主事であった久保田さんの時に始まり、今年で13年になります。この事業を行うにあたり、3月から準備の会合を重ね綿密に計画されたプログラムのお陰で、13年間何の事故も無く来られております。今回も18名の子供達に対し、京大病院および府立医大の医師、看護師、YMCAのスタッフ、リーダー、リーダーOB、OG、ボランティア、ワイズメンの約70名が参加してサポートしています。こんなことは他に例を見ないことで、この趣旨に賛同して純粋に子供達のためと言う思いの人達の集まりだから出来ることではないでしょうか。

当時はウイングクラブの中でも認知度は低く、少ない参加者でスタートしましたが、今ではプリンス・ウェル・トップスの各クラブにも協力をいただいています。この事業に関連したウイング事業として、10月29日に府立医大でワイズキッズ病院コンサート、11月17日には京都大学医学部付属病院でこども病棟秋祭りのサポートも行っています。

今回のキャンプに当たってリーダー達が子供達の喜んでくれるプログラムを考えその思いを実現するために、参加者皆で協力してクラフト、野外料理キャンプファイヤー、サバエ族、気球、クルーザー等を行いました。実際それがどんなことをしているのかを伝えることが半分も出来ません。多くの説明よりも参加することが理解を深める近道です。その事で思いが共有出来るものと思います。是非、来年のキャンプには、未だ参加したことのないメンバーは体験してみてください。きっと感動を覚えて頂けると思います。

私事ですが、普段は仕事の名の下に自分中心の思考回路になっています。片方の回路では、何か大切な物を忘れていないかとモヤモヤがあります。私にとって青い空と白い雲のキャンプは忘れていた物を思い出させてくれる事業です。又、ボランティアの名の下に自己満足しているのではないかと、本気で思っているのかと、自問自答しながら、嘘でもいいから参加し続けることに意義があるのだと慰めています。孫たちが元気に育ってくれる事に感謝して、これからもウイングクラブを通じて少しでも役に立てるよう頑張るつもりです。



プリンスクラブ・メンバー紹介 今西 英隆 (いまにしひでたか)

こんにちは。2015/9に入会させて頂く事になりました今西英隆です。簡単に自己紹介させて頂きます。

(入会のきっかけ)

岡西さんにゴルフコンペの親睦会でお誘い頂きました。人としての強さと優しさを持たれた岡西さんとの御縁を大切にしたいという思いと、プリンスのメンバーの皆様のお人柄の良さを肌で感じ入会を決意致しました。

(自分自身について)

下鴨小中→洛北高→関学(商学部会計学科)という学びの流れです。

高校時代は、バレー部キャプテンをしておりました。私自身、芯の強い人になりたいという思いが強く、大学3.4年度は夏休みを利用して、イギリス留学やヨーロッパ各国を単身バックパックツアーをしました。座右の銘は、'一期一会'です。人との出会いはいつでも奇跡です。だからこそ、自分自身が出会えた方々に、少しでも私と出会えたことを良かったと思って頂けるよう日々精進しております。

(仕事について)

ローム(株)→リニアテクノロジー社(米国)→プルデンシャル生命保険(米国)

前職の2社は、ともに半導体メーカーで営業(技術)職として、簡単に言うとプラズマ・液晶テレビや電気自動車の開発に携わってきました。現在のプルデンシャル生命保険においては、個人のお客様においては、'各ご家庭における正しい生命保険の形をコンサルティングすること'、法人のお客様には、'経営を強くする保険のコンサルティング'をさせて頂いています。

(最後に一言)

皆様と出会えたことに、とても感謝しております。今後の人生を皆様とともに輝くものにしていきたいと思っております。何卒、宜しくお願い致します。





大槻 展子
(東京クラブ)

ビバ！ワイズライフ！

私は、京都パレスのコメットとしてこの世に生を受け、現在は京都グローバルクラブのコメットでもあります。

子供の頃のワイズのイメージは、『キラキラ』。豪華なクリスマス例会や、ワークで汗を流し、バーベキューしたりするのは、楽しみなイベントでした。そんな中、何が『キラキラ』かという、メンバー・メネットの表情です。その『キラキラ』感が子供心にとっても印象的で、思えばその頃から、私にとって、将来メンバーになる、というのは、一つの夢でした。

その後、東京の大学に進学したこともあり、しばらくワイズから遠ざかっていたのですが、大学3年の夏、父から、「お金出してやるから韓国に行かへんか」と、言われて何気なく参加したAYCで再びワイズ熱が高まりました。今でも覚えているのは、事前研修で岡西メンが、「胸が震える感動体験」と言われたこと。本当に、胸が震える感動体験をして、帰国しました。

それがきっかけで、大学3年の夏からユースの活動にすっかりはまってしまい、十勝で開催されたAYCの準備や、当時設立されたユースクラブの活動に奔走している間に、ふと気づけば、無職のまま大学を卒業していました。その後もほぼ無職のまま日々を過ごしていたのですが、26歳の春、西日本区理事に就任する予定だった父が急逝しました。私たち家族は、父が亡くなるのは夢にも思っていなかったのですが、混乱の中支えて下さったのは、やはりワイズメンズクラブの皆さんでした。

メンバーの皆様方には大変ご迷惑をおかけしたものの、今でも、父が亡くなるまでメンバーであったことは本当に良かったと思っています。最近、ご高齢のため退会される方も少なくありませんが、生涯ワイズでいられるような環境作りが必要ではないかと思っています。

その後、派遣社員を経て司法試験を受けることとし、合格とほぼ時を同じくしてメンバーになり、現在に至ります。

現在は、東京クラブのメンバーとして、例会、部会、東西日本区大会、アジア大会や世界大会で、日本のみならず世界中のメンバーと再会できる喜びを日々実感しています。

私にとって、ワイズメンズクラブは人生のすぐ横にいつも存在し、人生を支えてくれ、喜びや成長の機会を与えてくれた、生涯の友のような存在です。

このような活動に関わられたこと、関わられるような環境に生まれ育ったことを、深く感謝しています。

ビバ！ワイズライフ！

ごめんやっしゃ、YMCAさん

今月はサバエキャンプ場で取材をさせて頂きました。

今月紹介させて頂くのは、渡邊文子さんです。彼女は学生時代、YMCAの野外のリーダーとして活躍されました。リーダー名は「マリネ」と言います。酔の物が好物だったからだそうです。大学は同志社でスポーツ健康科学部を専攻し、人間と運動の関係を勉強されたそうです。

そんな関係から、マリネの将来の夢は、「子ども中心ですが、赤ちゃんから高齢者まで、地域みんなが集える場所・環境を作ること」簡単に言いますと、「地域や社会のみなさんに支えられた総合福祉館のようなものを作ること」を目指しています。それをYMCAで出来れば最高でしょうね。

今年で、入職して2年目の希望のホープです。野外担当のディレクターとして、リーダーたちと楽しく仕事をされているように感じられます。僕たちワイズメンは、ソラドキャンプで彼女にお世話になっています。特に我クラブでは、特に飯尾さんと私が「サバエ族」でお世話になっております。いつもニコニコとした表情で「今年もサバエ族お願いします。」なんて言われると、つい、「させて頂きます」と返事してしまいます。全く彼女の笑顔には太刀打ちできません。これからも素敵な笑顔をいつまでも見せて下さいね。





1. 舞鶴観光おもてなし講座

舞鶴YMCA国際福祉専門学校を会場として、舞鶴市の観光資源や観光地域づくりについて学び、地域への関心や愛着を深めるとともに、ガイド案内、おもてなしのテクニック等の基礎スキル向上を通して、様々な観光事業で活躍できる人材の養成を目指します。

日時：全9回(1回限りの参加も可能)

9月28日(月)、10月6日(火)、13日(火)、22日(木)、27日(火)、11月12日(木)、17日(火) 午後7時～8時30分

11月21日(土) 午後1時～5時

場所：舞鶴YMCA国際福祉専門学校

参加費：無料(要申し込み) / 定員：15名程度

申し込み・お問合せ：舞鶴YMCA国際福祉専門学校 (TEL)0773-64-3683 / (FAX)0773-64-3687

(E-mail)maizuru@kyotoymca.org

※住所、氏名、年齢、電話番号をFAXかメールで舞鶴YMCA国際福祉専門学校までご連絡ください。

2. 第5回AIDS文化フォーラム「どの部屋行く？」聴きたい話がきくと見つかる

若者／文化／陽性者／医療／教育／セクシャリティーの多様性を理解する等の様々な視点からの講演やワークショップ、展示プログラムを通して、性の多様性を知ることからHIVを理解していくこと、HIV/AIDSが決して他人事ではないことを学びます。

日時：10月3日(土)午後12時30分～午後6時30分

4日(日)午前10時00分～午後5時30分

場所：同志社大学 新町キャンパス 尋真館

主催：AIDS文化フォーラム in 京都運営委員会 / 共催 京都府、京都市

入場料：無料 ※参加自由・事前申し込み不要

問合せ：AIDS文化フォーラム in 京都事務局(京都YMCA)

3. 国際協力街頭募金

戦争や紛争の中で飢餓や貧困に苦しめられている人々の救済、アジアやアフリカの青年と女性の社会参加と自立、海外での自然災害の被災者救援のために、毎年国際協力募金を行なっています。

今年も会員・市民ボランティアの方々が協力して、街頭で国際協力を呼びかける募金活動を行ないます。

ぜひご協力ください。

日時：11月1日(日)午後1時～午後2時30分

場所：三条河原町、三条大橋、四条河原町、四条烏丸、など市内約11カ所(予定)

問合せ：京都YMCA本部

4. YMCA祭

日頃の学生の取り組みを発表し、京都YMCAや地域に連なる方々との交流を図ることを目的に毎年実施しています。学生によるステージイベント、模擬店や物品販売を実施し、収益は国際協力募金等に充当させて頂いております。楽しく気軽に参加できるよう準備を進めています。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：11月3日(祝)午前10時～午後3時



9月最後の土日に富士五湖クラブとの合同例会「富士山例会」に参加してきました。標高2,300米、富士山五合目でのBBQ例会です。京都プリンスクラブより岡西さんご夫妻と飯尾さんにもご参加いただきました。一日中シトシト降っていた雨も夜半には上がり、満丸な月が顔を表しました。毎年のことながら、たき火を囲んでの歓談が深夜まで続きました。来年はぜひ皆さまもご参加ください。



9月26日メネット月なので広島クラブがメネット例会をYMCAの施設、コンフォレスト湯来でするので参加させていただきました。声をかけたのですが、結果わたし一人でした。呉クラブの造ったピザ窯があり、そこでピザやパンを焼き、屋外ではバーベキュー芝生の庭で川のせせらぎを聞きながらワイワイと楽しい時間を過ごしました。よく27日はYMCAのワイワイバザーで恒例の餅つきをしました。この餅つきも今年が最後かもしれません。YMCAが来年3月で今の場所から移転します。なにかの形で残したいのですが..

9月度 役員会報告

報告事項

- ジャガイモファンド申込締切10月7日
- 京都YMCA学園祭でホットドック出店

承認された事項

- 今西ワイズをEMC委員会に配属
- 台風18号常総市水害被災支援募金にニコニコより2万円拠出する
- 山口ワイズ退会の件
- 新たなCS・環境委員長は、半期総会に指名する

10月 スケジュール

- 7日(水) 第一例会 19:00 グランドプリンスホテル
- 18日(日) ジャガイモファンド 京都市青果市場
- 21日(水) 第二例会 3クラブ合同 19:00 リーガーロイヤルH
- 30日(水) 役員会 19:30 京都YMCA

10月 Happy Birthday

該当者なし

<編集後記>

今回、他クラブの方にも原稿依頼しました。かえって、他クラブの方も見て頂ける機会が出来たのかなあ、なんて思っています。来月も頼んでみようと思っています。